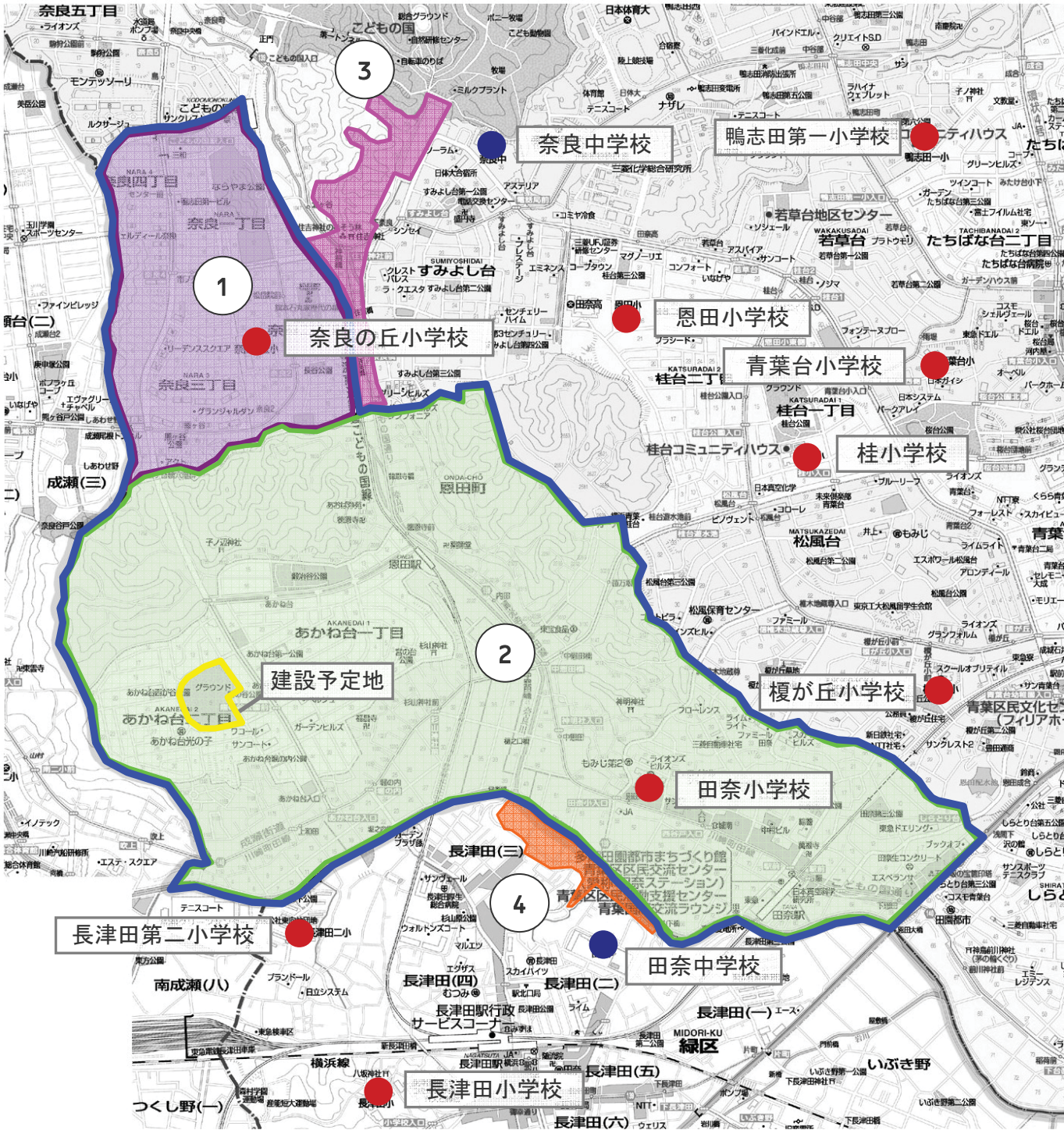


公共事業事前評価調書

事業概要	事業名	田奈・奈良中学校第二方面校（仮称）整備事業
	場所 (所在地)	横浜市青葉区あかね台二丁目8番地1ほか 中学校予定地 21,350 m ² 第一種低層住居専用地域（建ぺい率 40%、容積率 80%）
	事業目的	田奈中学校（緑区）および奈良中学校（青葉区）の過密化を解消するとともに、生徒の教育環境の向上を図るため、青葉区内の学校予定地に中学校を新設します。
	事業内容	用地取得から、校舎・体育館等の建設、校庭整備まで
	事業スケジュール	基本設計・実施設計 平成20年 6月～平成21年3月 校舎、校庭等工事施工 平成21年10月～平成23年3月 開 校 平成23年 4月
	総事業費	約30億円 (内 訳) 用地取得費 約 5億円 ※土地開発基金から買替（平成21～22年度） 工事費 約25億円（うち国庫補助 約6億円）
事業の 必要性	<p>(1) 必要性 31学級を超える田奈中の過大規模校の問題点を解消し、併せて奈良中の大規模校の問題点を解消します。</p> <p>(2) 上位計画における位置付け・根拠法令等 学校教育法、学校教育法施行規則、中学校設置基準、横浜市立小中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針。</p> <p>(3) 適地性 当該地は既に中学校建設予定地として確保しており、田奈中学校と奈良中学校の中間に位置しているため設置には適当と考えられる用地であります。</p>	

<p>事業の効果</p>	<p>(1) 教育環境の充実 過大規模校・大規模校の問題点を解消（過密化解消）することで、教室不足の解消や特別教室・体育館等の施設を使用する授業が適正に計画でき、教育環境の充実が図れる。</p> <p>(2) 快適な学習環境づくり 生活の場としての機能（採光や開放感のある施設配置等）を整備することにより快適な学習環境を提供できる。</p> <p>(3) 周辺環境に配慮した建物 周辺住宅への威圧感や日影に配慮し、学校周辺を緑化することにより、現在広場である空間を周辺住宅と一体感のある場所とすることが出来る。</p>
<p>環境への配慮</p>	<p>(1) 長期的な視点から、環境負荷の低減や経済性を考慮した計画とする。</p> <p>(2) 日照・騒音・圧迫感など近隣住民への影響を考慮した計画とする。段差のある敷地形状を極力生かし、かつバリアフリーとした計画とする。</p> <p>等の視点から、環境へ配慮した学校施設計画とします。</p>
<p>地域の状況等</p>	<p>通学区域、学校名及び通学安全に関して、自治会、町内会、PTA、関係学校長で組織する「田奈・奈良中学校第二方面校開校準備委員会」において、検討を行っています。</p>
<p>事業手法</p>	<p>公共発注方式</p>
<p>その他</p>	<p>特になし</p>
<p>添付資料</p>	<p>田奈・奈良中学校第二方面校（仮称）通学区域図（案）</p>
<p>担当部署</p>	<p>教育委員会事務局総務部施設管理課 石田、平山（TEL 671-3256～3258）</p>

田奈・奈良中学校第二方面校通学区域図



凡例

- ① 奈良の丘小学区の一部
- ② 田奈小学区の一部
- ③ 奈良町のうち、奈良の丘小学区
- ④ 長津田二丁目及び三丁目のうち、田奈小学区



田奈・奈良中学校第二方面校通学区域線